

国
語

二〇二〇年度

東京純心女子中学校入学試験問題

(一日午後 特待生選抜を兼ねる)

- 一. 解答は解答用紙に記入しなさい。
- 二. 記述問題で字数制限のある場合は、
句読点・記号も一字として数えなさい。
- 三. 問題文は上下二段になっています。

□ 小惑星探査機「はやぶさ」の名前をめぐる、筆者の思いを述べた次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

無事、イトカワから地球まで微粒子を持ち帰った小惑星探査機に、「はやぶさ」という名前をつけた人は偉いと思う。①これももし単なる小惑星探査機 MUSES-C、というだけであつたならば、あれほどの熱狂は起きなかつたのではないだろうか。

帰還したはやぶさが、いよいよオーストラリアの砂漠に姿を見せた時、関係者の一人が空に向かって「お帰り、はやぶさ」と声を上げていたが、その口調には心からの X がこもっていた。Aキカイに向かって発せられた言葉とは、とても思えなかつた。

鳥のハヤブサを実際に見たことはないが、だいたいの想像はつく。②広大な草原の中から、微かな獲物のBケハイをキャッチする鋭い目。その一点に向かってゆくスピード。しくじってもあきらめない執念。余計な飾りを排した潔い姿。目印もないまま巢へのCミニスジを見分ける賢明さ。こうしたものがすべて、探査機はやぶさと重なり合っている。カプセルだけを残り、燃え尽きた彼はまさに野生動物だ。自らの役目が終わったと悟った時、何の未練も残さず □ と死んでいったのだ。

もはやハヤブサとはやぶさは区別できない。私の中では、翼と嘴を持つた一羽の勇敢な鳥が、宇宙の漆黒を旅している。③最先端の科学技術を駆使したプロジェクトが、一つの名前を得たことで物語になる。宇宙のDキゲ

ンが解き明かされる喜びと、一つの物語を得る喜びは、等しく私を幸福にしてくれる。

名前は大事だ。この世にある事物に、最初に名前をつけたのはどんな人だったのか、とふと想像してしまう。何でもいいのだけれど、例えば、桔梗。花の名前にもかかわらずどこか毅然とした雰囲気漂わせるその響きは、花弁の尖った先端と深い紫色を見事に言い当てている。④野山の茂みの奥でこの花は、人には聞こえない声で、ききようききよう、とささやいているような気がする。

⑤あるいは、マトリョーシカはどうだろう。胴体をねじって中の人形を取り出し、また胴体をねじって次の人形を取り出し、というこの間延びした感じ。これがマトリョーシカのリョーのところに表われている。そして、人形でありながら少女ではなく、お婆さんを連想させるころんとした体形は、シカの部分に凝縮されている。なぜなら、子供の頃、親戚のおばさんからお土産にマトリョーシカをもらった時、たまたま野口英世の伝記を読んでいる最中で、人形を手にした途端、英世の母、しかさんを思い浮かべたからだ。以来マトリョーシカは私にとって、遠く離れて暮らす子供への思いを何重にも隠し持った、お母さんの象徴となった。

万年筆、E.ジヨウギ、カレンダー、手帳、目薬……。仕事机の上にあるものすべてが名前を持っている。そこにあるのに何と呼んでいいのか分からないものは一つもない。しかも、消しゴムは消しゴム、ホチキスはホチキスであり、それ以外の呼び名は考えられない。名前とものが離れがたく密着している。

たぶん、ものの方がさきにあつて、あとから名前がやって来たのだろうが、どれもこれも迷惑めいわくそうにせず、当たり前な顔をしているところが微笑ほほえましい。あなたは時計で君は修正液、と一つ一つ確認していると、自分の生きている世界が **□** 安定しているのを感じる。

もちろん人間にも名前がある。物心ついた時から既に私はもう洋子であり、いつどんな時でも、私が間違まちがいなく他の誰だれでもない私自身であることを証明してくれている。名前が自分の内側に満ちあふれている。

⑥と、そんな取り留めのないことを考えているうち、思い出されるのはやはり、アンネ・フランクだ。『アンネの日記』をドイツ語で暗唱する女子大生たちを描えがいた、赤染晶子あかぞめあきこさんの小説『乙女の密告』おとめに、次のような文章がある。

「暗唱にはルールがある。暗唱の最後に必ずアンネの名前を言わなければならない。暗唱を途中とちゆうで棄権きけんする場合 **a** 必ず、アンネの名前 **b** は言わなければならない」

日記は手紙形式で書かれたため、彼女は繰り返し差出人として自分の名前を書くことになった。指導教官のバツハマン教授は、アンネ・フランクという発音を最も **Y** 練習れんしゆさせた。

隠れ家の机で、一日の終り、何度も日記に書き付けた名前。それを彼女かのじよは強制収容所*6で奪うばわれることになる。代わりに入れ墨すみされた番号あなを与えられ、死後は名前を刻む墓碑ほひもない穴うに埋められた。

こんなふうにアンネ・フランク、と私が口にするたび、失われた名前が彼女

の魂たましいのもとへ帰ってゆくのであれば、どんなにいいだろうと思う。そうであつてほしいと願う。桔梗やマトリョーシカと同じように、**⑦アンネ・フランク** という名前は、ホロコーストホロコウスト（大量虐殺たらくはつ）の象徴でもベストセラー作家の氏名なでもなく、彼女自身のものなのだから。

（小川洋子『とにかく散歩いたしましょう』より。）

*1 イトワカから地球まで微粒子を持ち帰った……二〇一〇年六月二三日、小惑星探査機「はやぶさ」は、太陽系の小惑星イトワカから宇宙の細かい粒つぶを地球に持ち帰った。

*2 あれほどの熱狂……六〇億キロの長い旅を終えて帰還した「はやぶさ」を、人々は熱狂的に迎むかえた。

*3 漆黒……つややかな黒。

*4 最先端の科学技術を駆使したプロジェクト……目標を達成するために、最新の科学技術を使った計画。

*5 凝縮……内容を一点に集中させること。

*6 強制収容所……ベルゲン・ベルゼン強制収容所のこと。ここでアンネはチフスにかかつて命を落とした。

問一——線①「これがもしくはないだろうか」について、次の各問いに答えなさい。

- (1) 「これ」の指す内容を、本文中の言葉を使って、十字以内で答えなさい。
(2) 「あれほどの熱狂」とありますが、人々が「はやぶさ」の帰還を待ちわびていたことがわかる言葉を、ひらがな四字で抜き出しなさい。

問二 X に入る言葉として適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア あわれみ イ はじらい ウ かなしみ エ いたわり

問三——線②「広大な草原」とありますが、探査機「はやぶさ」の場合これにあてはまる場所はどこですか。本文中から二字で抜き出しなさい。

問四 一・ 二 に入る言葉として適当なものを、次のア～オの中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア たつぷり イ ひっそり ウ くつきり
エ どつしり オ ゆっくり

問五——線③「最先端のく名前を得たことで物語になる」とありますが、筆

者がこのように考えるのはなぜですか。本文中の言葉を使って、七十字以内で説明しなさい。

問六——線④「野山の茂みのくさきやいている」とありますが、これはどのようなことをたとえていますか。適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「桔梗」という言葉の響きから、この花に名前をつけた人の気持ちが生かされてくるということ。
イ 「桔梗」という言葉の響きには、人に知られることなく咲くこの花の運命が暗示されているということ。

- ウ 「桔梗」という名前や言葉の響きよりもこの花の持つ美しさの方が、強く心に残るということ。
エ 「桔梗」という言葉の響きと気品に満ちたこの花の様子とが、見事に重なっているということ。

問七——線⑤「あるいは、マトリョーシカはどうだろう」とありますが、筆者は言葉の響きから、「マトリョーシカ」をどのようなものとしてとらえていますか。次の空欄に合うように、本文中から三十五字以内で探し、はじめと終わりの五字を抜き出しなさい。

マトリョーシカを【三十五字以内】としてとらえている。

問八——線⑥「と、そんなくアンネ・フランクだ」とありますが、筆者は「ア

ンネ・フランク」にとって名前ほどのような意味を持っていたと考えられていますか。次の文の空欄に合うように、七十字以内で説明しなさい。

筆者は、「七十字以内」という意味を持っていたと考えている。

エ アンネ・フランクという名前をどれだけ口にしても、失われてしまった

命は、二度ともどつて来ることはないということを訴えたい。

問十二 ……線A「キカイ」・B「ケハイ」・C「ミチスジ」・D「キゲン」・

E「ジョウギ」をそれぞれ漢字に直しなさい。

問九

a・bに入る言葉として適当なものを、次のア～オの中から

一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア だけ イ まで ウ ほど エ でも オ より

問十

Yに入る適当な言葉を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 大きさに イ 朗らかに ウ 優雅に エ 丁寧に

問十一 —線⑦「アンネ・フランクという名前」彼女自身のものなのだから

とありますが、ここから読み取れる筆者の思いとして適当なものを、次の

ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 墓碑もない穴に埋められたアンネ・フランクの死を悼み、強制収容所

で失われた多くの命の象徴として、その名前を心に深く刻みつけたい。

イ アンネ・フランクという名前は失われてしまったが、『アンネの日記』

を永遠のベストセラー作品として、これからも語りついでいきたい。

ウ 強制収容所で奪われた名前を何度も口にするので、アンネ・フランク

が、かけがえのない一人の人間として生きてきたことを証明したい。

はクモの巣を手ですぐに壊すことができるために、クモの糸が強いという実感がわきません。

Y、人間の実感として「クモの糸が強い」ということを感じるには、

Z、クモの糸に人がぶら下がってみることが最も説得力があるのではないかと考えました。「人がクモの糸にぶら下がるか？」という問いに挑戦し、世界で初めて答えを出した体験から、この本をはじめましょう。

おおききげよし
(大崎茂芳『クモの糸の秘密』より。なお、本文には省略等があります。)

問一——線①「クモの神秘的な面」とありますが、この内容を具体的に述べ

た言葉を、本文中から五字で抜き出さない。

問二——線②「拍車をかけました」とありますが、この内容の説明として適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア クモ嫌いの人が増えた。 イ クモ嫌いの人が騒ぎ立てた。
ウ クモ嫌いの人をほめた。 エ クモ嫌いの人を排除した。

問三——線③「最近は表舞台に現れてくるようになってきたのです」とありますが、具体例としてどのようなことが挙げられますか。適当なもの

のを次のア～オの中からすべて選び、記号で答えなさい。

ア クモを題材にした『スパイダーマン』という映画が、世界的に大ヒットしたこと。

イ 毒クモであるセアカゴケグモが日本に上陸し、十年たってもニュースになっていること。

ウ 全国各地でクモの糸の講演会が行われたため、クモの魅力が伝わってクモ嫌いの人が減ったこと。

エ クモの糸の実用化の可能性に関する論文が科学雑誌に載り、ニュースとして流れたこと。

オ 芥川竜之介の『蜘蛛の糸』という小説の重要な場面に、クモやクモの糸が登場すること。

問四——線④に入る言葉として適当なものを、次のア～キの中

から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 重要 イ 対処 ウ 効率 エ 柔軟
オ 密接 カ 危険 キ 生息

問五——線⑤「その結果、私などはクモの糸の畏にかかってしまったのです」について、次の各問いに答えなさい。

(1) 「クモの糸」の特徴を具体的に述べた言葉を、本文中から十二字で抜き出さない。

② 「クモの糸」が①のような特徴を持つようになったいきさつを述べた一文を本文中から探し、はじめの五字を抜き出さない。

③ 「クモの糸の毘にかかつてしまった」は、「私」のどのような状態をたどっていますか。解答欄に合うように、本文中の言葉を使って三十五字以内で説明しなさい。

【三十五字以内】状態。

問六

X

・

Y

・

Z

に入る言葉として適当なものを、次のア～オの

中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア なぜ イ やはり ウ しかし

エ そこで オ つまり

問七 —線「芥川竜之介の小説くシーンがあります」とありますが、筆者はこの場面を読んでどのような思いを抱いだきましたか。その理由を含ふくめ、本文中の言葉を使って、七十字以内でまとめなさい。